

令和7年度

# 事業概要



千葉県市原土木事務所

## 目 次

1. 沿革 .....	3
2. 管内の概要 .....	4
3. 組織及び所管事務分掌 .....	5
組織 .....	5
組織図 .....	5
職員の配置 .....	6
事務分掌 .....	7
4. 予算の概要 .....	9
(1) 令和4・5年度歳入及び歳出決算 .....	9
(2) 令和5・6年度予算 .....	10
5. 主な事業概要 .....	11
(1) 道路事業 .....	11
社会資本整備総合交付金事業 市原茂原線 新巻1工区 .....	11
社会資本整備総合交付金事業 市原茂原線 磯ヶ谷工区 .....	12
社会資本整備総合交付金事業 市原天津小湊線 田淵・国本工区 .....	13
(2) 河川事業 .....	14
広域河川改修事業 二級河川 養老川 .....	14
総合流域防災事業 二級河川 椎津川 .....	16

### 表紙の写真

公共土木施設災害復旧事業（二級河川養老川水系 養老川 市原市田淵旧日竹）  
養老川は、流路延長 75 キロメートル、流域面積は 243 平方キロメートルと県内屈指の  
河川であり、管内中央部を南北に貫流しています。  
本河川は、令和5年に発生した台風第13号により複数箇所で護岸が被災したことから、  
治水機能を回復するため、被災箇所の復旧工事を実施しました。

6.	管内道路、河川の現況	17
(1)	管内道路	17
(2)	管内河川	19
(3)	管内砂防指定地	19
(4)	急傾斜崩壊危険区域指定	19
(5)	国土交通省所管海岸保全区域指定	19
7.	道路現況調、河川現況調、砂防河川現況調	20
(1)	道路現況調	20
(2)	河川現況調	21
(3)	砂防河川現況調	22
8.	道路施設	23
(1)	橋梁	23
(2)	トンネル	28
(3)	洞門	28
9.	土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定	29
10.	用地等取得状況	30
11.	登記事務処理状況	31
12.	道路及び河川等使用許可状況	32
ア.	道路使用状況	32
イ.	河川使用状況	33
ウ.	道路法24条工事	33
エ.	境界査定実施状況	34
13.	保有施設の状況	35
14.	歴代所長	36

## 1. 沿革

明治33年3月	千葉県告示第80号を以って千葉県第1工区（千葉郡、市原郡）を創設。 県庁内務部に置く。
大正3年3月	千葉県告示第66号を以って千葉県八幡工区と改称。
昭和4年5月	千葉県八幡土木出張所と改称。
昭和28年4月	庶務課及び工務課を設置。
昭和34年4月	鶴舞に派出所を新設。
昭和37年4月	管理用地課を増設。
昭和38年4月	千葉県市原土木出張所と改称。道路補修課を増設し4課制となる。
昭和39年4月	県内14土木出張所を10土木事務所と8出張所に改組、それに伴い当出張所を京葉土木事務所市原出張所と改称。
昭和40年4月	市原土木事務所と改称。総務課、管理用地課、工務第1課及び工務第2課に改称。
昭和40年8月	庁舎改築（延床面積380m <sup>2</sup> ）
昭和44年4月	建築課を増設し5課制となる。
昭和47年3月	庁舎増改築（延床面積228m <sup>2</sup> ）
昭和50年4月	管理用地課を管理課と用地課に分課。工務第1課及び工務第2課を建設課及び維持課に改称。
昭和53年4月	建築課を廃止し千葉都市計画事務所兼務となる。
昭和56年6月	派出所を改め鶴舞支所となる。
昭和60年2月	鶴舞支所、老朽化により改築（鉄筋コンクリート2階建213.55m <sup>2</sup> ）
昭和63年4月	建設課を道路改良課及び河川改良課に、用地課を用地第1課及び第2課に改称。
平成元年4月	維持課を維持防災課及び地域指導課に改称。
平成2年3月	老朽化により庁舎改築（鉄筋コンクリート2階建延床面積988.81m <sup>2</sup> ）
平成2年4月	用地第1課及び用地第2課を統合して用地室を新設し、用地第1班及び用地第2班を置く。養老川及び村田川の災害復旧助成事業を実施するために、養老川・村田川改修事務所を新設。
平成3年6月	老朽化により書庫、車庫、水防庫改築（鉄筋コンクリート2階建延床面積649.979m <sup>2</sup> ）
平成5年4月	地域指導課を地域指導班に改称。
平成6年4月	道路改良課、河川改良課、維持防災課をそれぞれ道路改良班、河川改良班、維持防災班に改称。
平成7年4月	養老川・村田川災害復旧助成事業の完了に伴い、養老川・村田川改修事務所を廃止し河川改良班に吸収。
平成8年4月	管理課を管理第1班及び管理第2班に改称。
平成10年4月	地域指導班を調整班に改称。
平成11年4月	維持防災班を維持班に改称。
平成12年4月	管理第1班及び管理第2班を管理課に、用地室を廃止し、用地第1班及用地第2班を用地課に、調整班、道路改良班、河川改良班、維持班を調整課、道路改良課、河川改良課、維持課にそれぞれ改称。
平成16年4月	出先機関等の再編に伴い千葉地域整備センター市原整備事務所と改称。
平成17年4月	総務課を廃止し調整課に、道路改良課と河川改良課を建設課に、管理課と維持課を維持管理課に、鶴舞支所を鶴舞出張所にそれぞれ改称。
平成20年3月	市原区画整理事務所の廃止に伴い、区画整理課を市原整備事務所に新設。
平成23年4月	岩崎土地区画整理事業の完了に伴い、区画整理課を廃止。
平成24年4月	市原土木事務所と改称。総務課を増設し5課・1出張所制となる。
平成28年4月	用地課及び維持管理課を管理用地課及び維持課に改称。
	管理用地課を管理課及び用地課に分課し、6課・1出張所制となる。

## 2. 管内の概要

市原土木事務所は、千葉県のほぼ中央部に位置する市原市を所管しています。

管内である市原市は、人口が約 27 万人、面積は約 368 平方キロメートルと県内最大の市域を有しています。

臨海部には、京葉工業地帯の中核をなす国内最大の石油化学コンビナート群を擁し、JR 内房線の八幡宿駅、五井駅及び姉ヶ崎駅を中心に市街地が形成され、内陸部には、辰巳台、国分寺台、ちはら台など良好な住宅地があります。

一方、南部は、養老渓谷や大福山など豊かな自然に恵まれた有数な観光地となっており、養老川の中流域は、肥沃な土地を生かした緑豊かな田園地帯が広がり稲作を中心とした農業が盛んであり、農工両全のバランスのとれた産業構造を有する活力に満ちた広域都市となっています。また、令和 2 年 1 月 17 日付けて、国際地質科学連合 (IUGS) によって、日本初の国際境界模式地 (GSSP) に認定された地質年代区分「チバニアン」があります。

道路管理延長は、33 路線（一般国道 2 路線、主要地方道 7 路線、一般県道 24 路線）、約 240 キロメートルで、主な路線は、東関東自動車道館山線、首都圏中央連絡自動車道及び国道 16 号が基軸道路となり、これを補完する幹線道路として、南北方向に国道 297 号、主要地方道千葉茂原線、千葉鴨川線、市原天津小湊線、東西方向に国道 409 号、主要地方道市原茂原線、五井本納線があり、これらの道路と有機的に接続する一般県道により管内の道路ネットワークを形成しています。

このような中、東関東自動車道館山線の市原インターチェンジ、姉崎・袖ヶ浦インターチェンジ、首都圏中央連絡自動車道の市原鶴舞インターチェンジ及び観光地へのアクセス強化を図るため、国道 297 号、主要地方道市原茂原線、市原天津小湊線等の整備を推進しています。

また、中山間部などには狭隘・屈曲箇所や歩道が未整備なところが多く残っており、この解消が喫緊の課題となっていることから、安全で快適な通行空間や歩行空間を確保するため、真に必要な道路や歩道等の整備を計画的に進めており、安全・安心の確保を図るため、道路法面などの防災対策や舗装や橋梁などを適切に管理するための維持修繕を実施しています。

河川管理延長は、二級河川 4 水系（養老川、村田川、前川、椎津川）11 河川、120 キロメートルあり、この中で、養老川は、流路延長 75 キロメートル、流域面積は 243 平方キロメートルと県内屈指の河川で管内中央部を南北に貫流しています。

また、北側の千葉市との境には村田川が、西側には前川と椎津川が、それぞれ東京湾に注いでいます。

これらの河川流域は、都市化の進展等に伴う土地利用の変化により、保水・遊水機能が低下し、洪水時の出水対策と併せて良好な河川環境を確保するための整備が急務となっています。

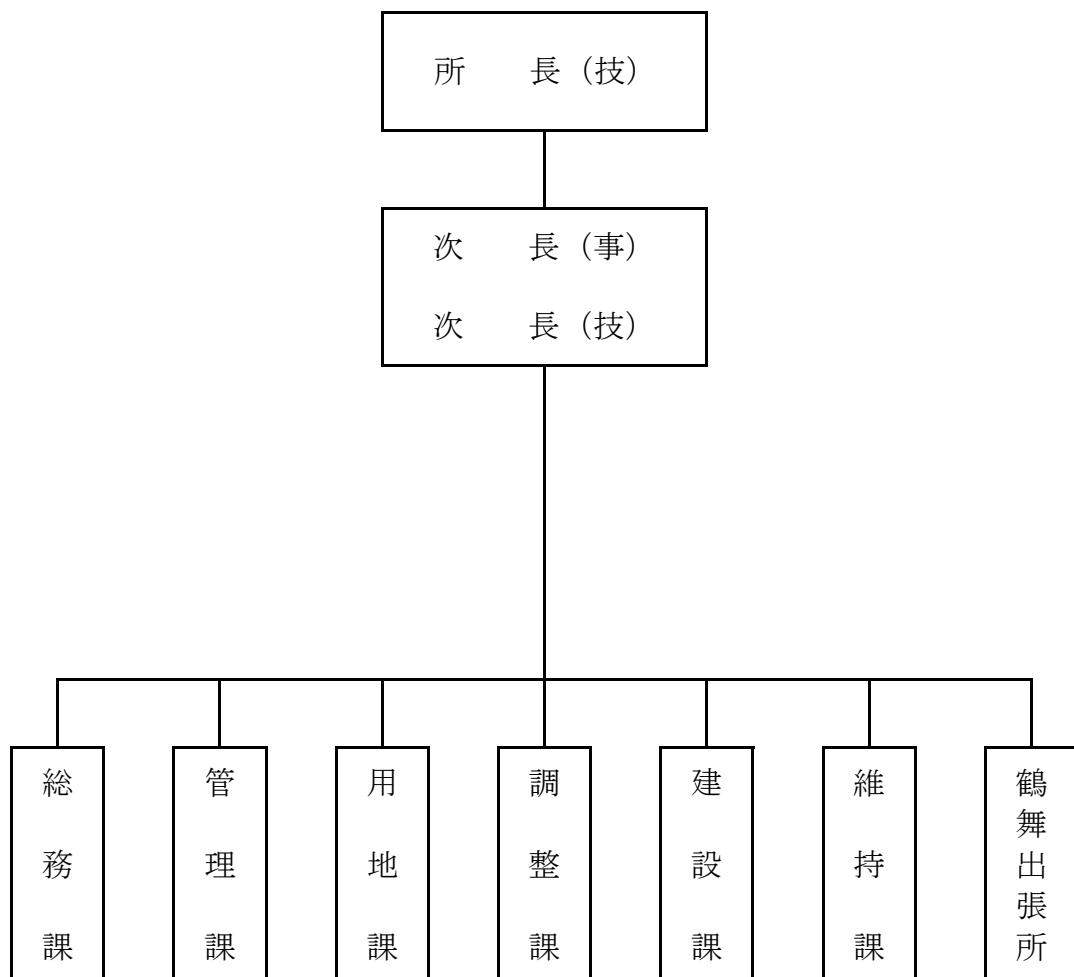
そこで、養老川においては、流下能力の向上を図るための河道掘削を推進するとともに、椎津川では、早急な整備が望まれる上流区間の河道整備を進めています。

### 3. 組織及び所管事務分掌

#### 組織

事務所の組織は総務課、管理課、用地課、調整課、建設課、維持課、鶴舞出張所の6課、1出張所である。職員数は、事務職員14名、技術職員20名、及び会計年度任用職員6名、合計40名で、本所33名、鶴舞出張所7名となっている。

組織図（令和7年4月1日）



職員の配置

(令和7年4月1日現在)

職員 課別	所 長	次 長	出 張 所 長	課 長	副 主 幹	主 查	副 主 查	主 事	技 師	任会 用計 職年 員度	計
	1	2									3
総務課						1		4		1	6
管理課				1	1			3		3	8
用地課				1				2		1	4
調整課				1					2		3
建設課				1			1		2		4
維持課				1		1	1		2		5
鶴舞出張所			1				2		3	1	7
計	1	2	1	5	1	2	4	9	9	6	40

## **事務分掌**

### **総務課**

1. 所の総合企画及び調整に関すること。
2. 請負・入札及び契約に関すること。
3. 建設業の許可及び建設業者の指導監督に関すること。
4. 庁舎及び機械器具の管理に関すること。
5. 資材及び物資の需要調達に関すること。
6. 安全衛生委員会及び環境マネジメントに関すること。
7. 庶務に関すること。
8. 文書及び情報ネットワークに関すること。

### **管理課**

1. 道路・河川・海岸の管理及び占用許可に関すること。
2. 官地と民地の境界査定に関すること。
3. 砂利及び土砂採取計画の認可協議並びに土砂運搬の協議に関すること。
4. 道路の認定及び区域決定に関すること。
5. 旧道処理（移管）に関すること。
6. 砂防指定地区及び急傾斜地崩壊危険区域の管理に関すること。
7. 千葉県自然公園条例に基づく指定地域の管理に関すること。

### **用地課**

1. 土地の収用、買収及び補償に関すること。
2. 登記に関すること。
3. 土地評価に関すること。
4. 税務署等の協議に関すること。

### **調整課**

1. 工事の企画、調整、報告等に関すること。
2. 技術関係の研修に関すること。
3. 建設工事安全対策委員会に関すること。
4. 陳情及び要望処理に関すること。
5. 水防・震災体制の計画に関すること。
6. 土砂災害防止に関すること。
7. 占用申請審査（技術部門）に関すること。
8. 開発事業の技術的な設計協議に関すること。
9. 市町村の国費、県費補助事業の指導、監督に関すること。
10. 市町村の災害復旧の指導に関すること。
11. その他所長が特に必要とする事項。

## 建設課

1. 道路、橋梁等の新設、改良及び舗装の工事に関すること。（維持課において所掌するものを除く。）
2. 道路、橋梁等の新設及び改良に係る技術に関する調査、統計及び報告に関すること。
3. 河川、海岸、急傾斜地崩壊防止施設等の新設及び改良の工事に関すること。
4. 河川改良に係る技術に関する調査統計及び報告に関すること。

## 維持課

1. 国、県道の維持補修に関すること。
2. 災害復旧工事に関すること。
3. 防災及び水防に関すること。
4. 道路の調査、統計及び愛護の奨励に関すること。
5. 国有及び県有土地の維持補修に関すること。
6. 防災行政無線に関すること。
7. 局部改良・交通安全施設及び道路排水施設の新設・維持補修事業の調査・設計・施行及び監督に関すること。

## 鶴舞出張所

1. 市原土木事務所の所管区域のうち、市原市(旧南総町及び旧加茂村に限る。)の区域に係る建設課、維持課に掲げる事務に関すること。
2. 砂防指定地区に関すること。
3. 千葉県自然公園（笠森鶴舞自然公園及び養老渓谷奥清澄自然公園）に関する新設及び改良工事に関すること。

## 4. 予算の概要

### (1)令和5・6年度歳入及び歳出決算

歳 入		(単位 : 円)	
科 目	令和6年度	令和5年度	増減(△)
分担金及び負担金	0	8,201,398	△ 8,201,398
負 担 金	0	8,201,398	△ 8,201,398
土 木 費 負 担 金	0	8,201,398	△ 8,201,398
使用料及び手数料	73,657,619	64,492,544	9,165,075
使 用 料	65,603,619	57,669,744	7,933,875
総 務 使 用 料	19,016	19,016	0
土 木 使 用 料	65,584,603	57,650,728	7,933,875
手 数 料	8,054,000	6,822,800	1,231,200
証 紙 収 入	8,054,000	6,822,800	1,231,200
諸 収 入	107,514	93,893	13,621
雜 収 入	107,514	93,893	13,621
雜 入	107,514	93,893	13,621
合 計	73,765,133	72,787,835	977,298

歳 出		(単位 : 円)	
科 目	令和6年度	令和5年度	増減(△)
土 木 費	1,933,419,256	3,115,909,626	△ 1,182,490,370
土 木 管 理 費	13,141,403	14,583,812	△ 1,442,409
土 木 総 務 費	5,855,891	6,310,709	△ 454,818
土 木 事 務 所 費	6,332,605	7,898,233	△ 1,565,628
用 地 対 策 費	952,907	374,870	578,037
道 路 橋 梁 費	1,503,260,943	2,085,143,724	△ 581,882,781
道 路 維 持 費	1,168,476,870	1,466,388,405	△ 297,911,535
道 路 新 設 改 良 費	168,310,073	479,273,419	△ 310,963,346
橋 り よ う 維 持 費	166,474,000	139,481,900	26,992,100
河 川 海 岸 費	417,016,910	1,016,182,090	△ 599,165,180
河 川 総 務 費	10,871,300	2,545,520	8,325,780
河 川 改 良 費	294,615,322	894,488,172	△ 599,872,850
砂 防 費	95,841,800	60,889,800	34,952,000
海 岸 保 全 費	15,099,300	50,927,800	△ 35,828,500
水 防 費	589,188	7,330,798	△ 6,741,610
災 害 復 旧 費	192,062,500	0	192,062,500
土木施設災害復旧費	192,062,500	0	192,062,500
道路橋りょう災害復旧費	149,602,500	0	149,602,500
河川海岸災害復旧費	42,460,000	0	42,460,000
合 計	2,125,481,756	3,115,909,626	△ 990,427,870

※「歳入」…各年度の翌5月末時点の収入額（累計）

※「歳出」…各年度の翌5月末時点の支出額（累計）

(2) 令和6・7年度予算

令和6年度予算

国庫補助事業		(単位：百万円)	
事業区分	事業費(事務費除く)	5年度 繰越額	
道路事業	254	406	
社会資本整備総合交付金	0	185	
防災・安全交付金(道路附属物)	0	0	
防災・安全交付金(災害防除)	0	0	
防災・安全交付金(舗装修繕)	10	41	
防災・安全交付金(交安)	4	81	
防災・安全交付金(橋梁修繕)	0	0	
無電柱化推進計画	20	19	
踏切道改良計画	0	42	
道路メンテナンス(点検)	22	0	
道路メンテナンス(橋梁)	18	28	
道路メンテナンス(トンネル)	0	10	
道路メンテナンス(道路附属物)	0	0	
土砂災害対策道路	0	0	
石油貯蔵施設立地対策等交付金	31	0	
災害復旧(道路)	149	0	
河川事業	184	391	
広域河川改修	50	108	
総合流域防災	2	59	
災害復旧(河川)	42	0	
土砂災害防止(砂防)	0	61	
土砂災害防止(急傾斜)	0	0	
土砂災害警戒対策	90	163	
緊急急傾斜地崩壊対策	0	0	
海岸基盤整備	0	0	
公 共 計	438	797	

令和7年度予算

国庫補助事業		(単位：百万円)	
事業区分	事業費(事務費除く)	6年度 繰越額	
道路事業	677	325	
社会資本整備総合交付金	12	42	
防災・安全交付金(道路附属物)	0	0	
防災・安全交付金(災害防除)	0	0	
防災・安全交付金(舗装修繕)	120	80	
防災・安全交付金(交安)	15	7	
防災・安全交付金(橋梁修繕)	0	0	
無電柱化推進計画	3	3	
踏切道改良計画	16	0	
道路メンテナンス(点検)	161	0	
道路メンテナンス(橋梁)	92	15	
道路メンテナンス(トンネル)	53	10	
道路メンテナンス(道路附属物)	0	168	
土砂災害対策道路	0	0	
石油貯蔵施設立地対策等交付金	0	0	
災害復旧(道路)	205	0	
河川事業	51	301	
広域河川改修	0	50	
総合流域防災	0	71	
災害復旧(河川)	0	180	
土砂災害防止(砂防)	0	0	
土砂災害防止(急傾斜)	0	0	
土砂災害警戒対策	51	0	
緊急急傾斜地崩壊対策	0	0	
海岸基盤整備	0	0	
公 共 計	728	626	

県単独事業		(単位：百万円)	
事業区分	事業費(事務費除く)	5年度 繰越額	
道路事業	1,314	226	
道路改良	103	85	
舗装道路修繕	397	20	
排水整備	12	15	
交通安全対策	125	39	
道路維持	19	26	
道路維持修繕	177	0	
橋梁修繕	184	0	
道路管理	4	0	
災害防止	212	39	
電線類地中化整備	0	2	
道路調査	16	0	
道路交通情勢調査	0	0	
県単災害関連(道路)	65	0	
河川事業	254	479	
河川改良	36	201	
河川環境整備	25	0	
水辺環境整備	0	0	
河川調査	0	35	
河川管理	10	1	
砂防整備	0	0	
砂防調査	0	0	
砂防管理	0	0	
海岸整備	15	33	
河川維持	156	198	
水防	0	11	
緊急急傾斜地崩壊対策	0	0	
海岸管理	0	0	
県単災害関連(河川)	12	0	
大福山遊歩道等整備	0	0	
射撃場施設整備	0	0	
消防学校、防災研修センター整備	0	0	
県単計	1,568	705	

県単独事業		(単位：百万円)	
事業区分	事業費(事務費除く)	6年度 繰越額	
道路事業	1,720	323	
道路改良	185	53	
舗装道路修繕	396	0	
排水整備	45	19	
交通安全対策	215	41	
道路維持	81	29	
道路維持修繕	144	0	
橋梁修繕	399	64	
道路管理	7	0	
災害防止	213	108	
電線類地中化整備	20	9	
道路調査	15	0	
道路交通情勢調査	0	0	
県単災害関連(道路)	9	0	
河川事業	514	193	
河川改良	186	21	
河川環境整備	27	0	
水辺環境整備	10	0	
河川調査	0	21	
河川管理	0	0	
砂防整備	4	0	
砂防調査	0	0	
砂防管理	3	0	
海岸整備	29	4	
河川維持	255	147	
水防	0	0	
緊急急傾斜地崩壊対策	0	0	
海岸管理	1	0	
県単災害関連(河川)	0	0	
大福山遊歩道等整備	0	0	
射撃場施設整備	0	0	
消防学校、防災研修センター整備	0	0	
県単計	2,234	516	

補助・県単合計	2,006	1,502
備考：令和6年度予算は最終予算額		

補助・県単合計	2,962	1,142
備考：令和7年度予算は令和7年6月末現在		

## 5. 主な事業概要

### (1) 道路事業

事 業 名	社会資本整備総合交付金事業
工 事 箇 所	主要地方道 市原茂原線 新巻1工区 市原市新巻

#### 〈概 要〉

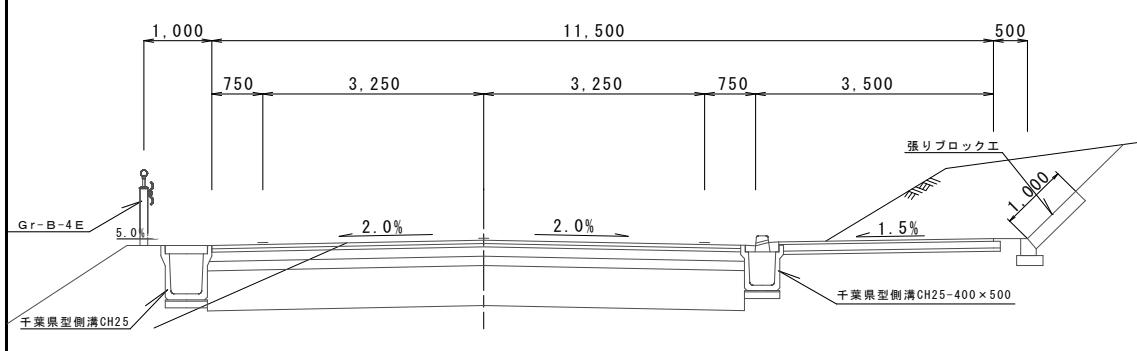
本路線は、内房地域の市原市と外房地域の茂原市を結ぶ幹線道路である。当該区間は幅員が狭く大型車の相互通行が困難であり、地域住民の生活に大きな支障となっている。このため、交通の円滑化を図るとともに、安全な通行を確保するため、現道拡幅による整備を進めている。

全体計画	令和6年度迄実績	令和7年度計画
事業費 180,000千円	事業費 116,765千円 (進捗率65%)	事業費 27,349千円
延 長 L=1,710m		(進捗率80%)
幅 員 W=11.5m	調査・設計 1式	改良工 1式
工 期 平成14年度～	用地補償 1式	調査・設計 1式

工 事 箇 所 図



標 準 横 断 図



事業名	社会資本整備総合交付金事業
工事箇所	主要地方道 市原茂原線 磯ヶ谷工区 市原市磯ヶ谷

〈概要〉

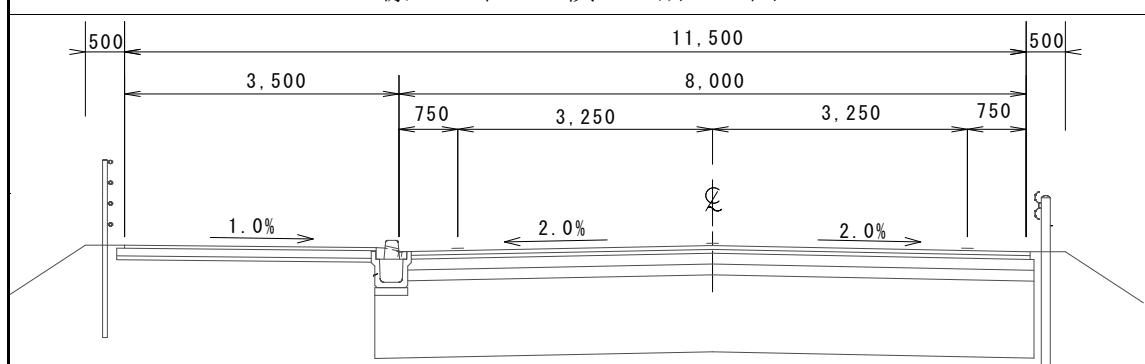
本路線は、内房地域の市原市と外房地域の茂原市を結ぶ幹線道路であることから、近年交通量が増大している。当該区間について幅員が狭く大型車相互の通行が困難であり、地域住民の生活に大きな支障となっている。このため、交通の円滑化を図るとともに、安全な通行を確保するため、バイパスとして整備を進めている。

全体計画	令和6年度迄実績	令和7年度計画
事業費 1,500,000千円	事業費 1,095,888千円	事業費 10,000千円
延長 L=2,160m	(進捗率73%)	(進捗率74%)
幅員 W=11.5m	改良工 1,080m	改良工 1式
工期 平成19年度～	用地買収 36,797m <sup>2</sup>	地質調査・設計 1式

工事箇所図



標準横断図



事業名	社会資本整備総合交付金事業
工事箇所	主要地方道 市原天津小湊線 市原市田淵・国本

〈概要〉

本路線は、千葉・東京方面から房総半島の中央部を経て養老渓谷自然公園及び南房総地域の観光地へのアクセス道路として機能する幹線道路であり、また、首都圏中央連絡自動車道の開通後は、国道297号と一体となり一層大きな役割を果たしている。

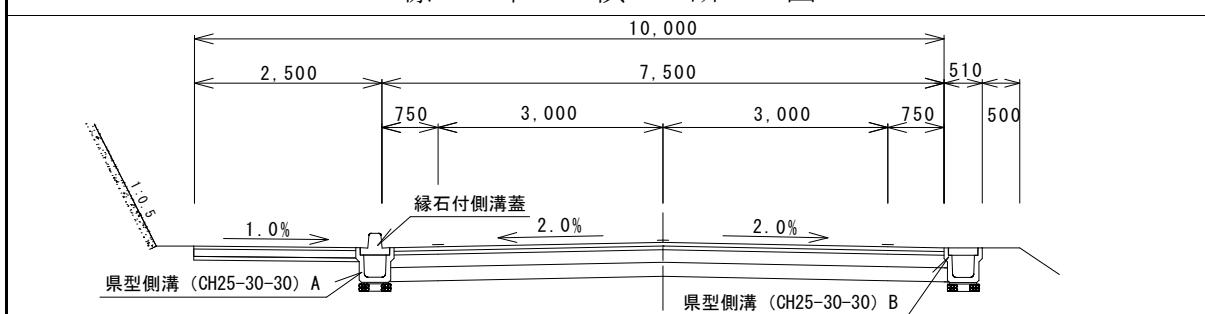
当該区間は、屈曲箇所の多い未改良道路であり、冬期には凍結による交通事故が多発していることから、交通の円滑化と交通の安全確保を図るため、現道拡幅の整備を進めている。

全体計画	令和6年度迄実績	令和7年度計画
事業費 3,159,000千円	事業費 1,002,770千円 (進捗率32%)	事業費 70,000千円 (進捗率34%)
延長 L=1,700m	改良工 700m	調査 1式
幅員 W=10.0m	用地補償 1式	付帯工 1式
工期 平成18年度～		

工事箇所図



標準横断図



## (2) 河川事業

事業名	広域河川改修事業
工事箇所	二級河川 養老川 市原市五井

### 〈概要〉

養老川は、清澄山系に源を発し、蛇行を繰り返しながら、古敷谷川、平蔵川、内田川の支川と合流し、市原市を南北に貫流して東京湾に注ぐ流路延長75km、流域面積約243km<sup>2</sup>の本県を代表する二級河川である。

この河川は、治水事業として明治から昭和30年代まで二線堤を造るなど地域の保全に努めてきたが、昭和45年7月の大洪水を契機に、更なる河川断面の拡幅により、治水安全度向上を図るために、養老大橋（国道16号）からJR内房線橋梁までの3,600m区間を昭和46年度から河川改修事業を進めてきた。

しかしながら市街化の進展や土地利用の変化に伴う流出量の増大、流出時間の短縮など治水安全度が低下してきている。

このような状況の中で、平成元年8月の豪雨による約1,020戸の浸水被害を受けて、上流の柳原橋から権現堂橋までの2,860m区間に平成6年度から広域河川改修事業を導入している（現在事業は休止）。また、平成8年9月の台風17号による約800戸の浸水被害を受け、平成8年度から11年度の期間に災害復旧助成事業をJR内房線橋梁から東関東自動車道廿五里橋の1,800m区間に導入するとともに、平成11年度から16年度までの期間で現在実施している広域河川改修事業区間に中に床上浸水対策特別緊急事業を導入した。

現在、広域河川改修事業により治水安全度の向上を図るため、河道掘削工を進めている。

### 広域河川改修下流区間・床上浸水対策特別緊急事業

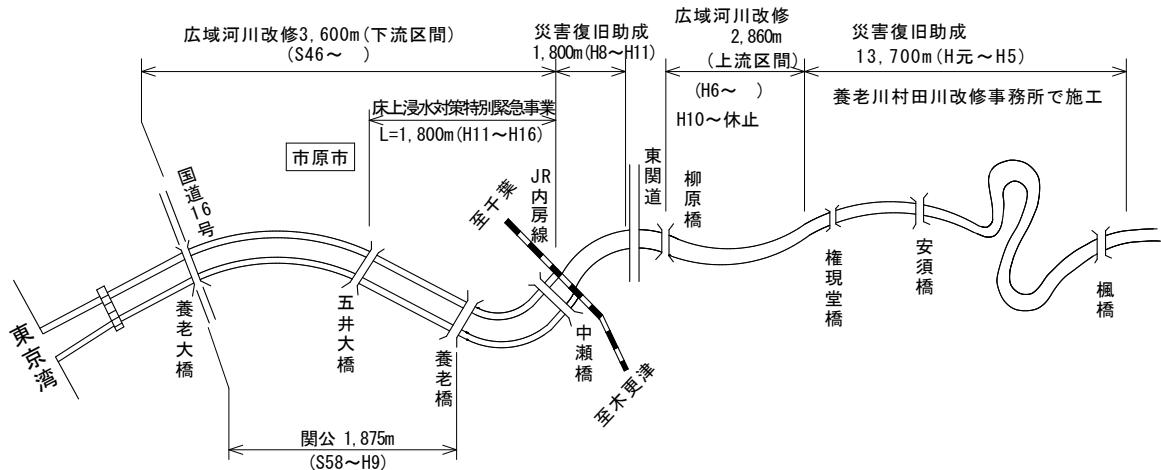
全体計画	令和6年度迄実績	令和7年度計画
事業費 13,957,000千円	事業費 12,467,000千円 (進捗率89%)	事業費 50,000千円 (進捗率90%)
延長 3,600m	用地 328,650m <sup>2</sup>	河道掘削 1式
河川幅 200m	築堤工 3,600m	
河道工 3,600m	橋梁 2橋	
築堤工 3,600m	堰 1基	
橋梁 2橋	河道掘削 1式	
堰 1基		
用地 328,650m <sup>2</sup>		
工期 昭和46年度～		

{床上浸水対策特別緊急（上記計画に含む）}

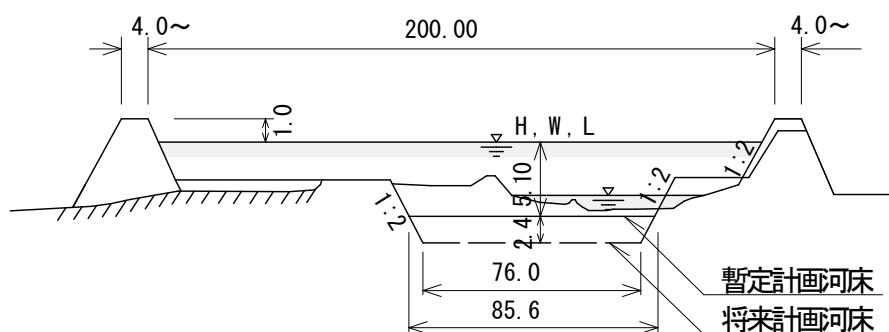
### 広域河川改修（平成6年度～）上流区間

全体計画	平成10年度迄実績	平成11年度以降
事業費 2,400,000千円	事業費 80,000千円 (進捗率3%)	休止中
延長 2,860m		
河道工 2,860m	調査 1式	
用地 146,900m <sup>2</sup>		
工期 平成6年度～		

## 養老川河川概要図



代表横断図（広域基幹・床上）



事業名	総合流域防災事業
工事箇所	二級河川 椎津川 市原市不入斗

### 〈概要〉

椎津川は、市原市深城地先を源とする深城川と豊成付近を源とする不入斗川が合流する不入斗地先を上流端とし、途中で片又木川と合流しながらJR姉ヶ崎駅前の市街地を流下して、東京湾に流入している流域面積21.41km<sup>2</sup>、流路延長7.1km（指定延長4.1km）の二級河川である。

椎津川水系における治水事業は、昭和44年の水理調書を基に下流から随時、河道改修が進められ、川間橋から下流区間については昭和61年の工事実施基本計画に基づき、1/50規模の河道改修を実施した。

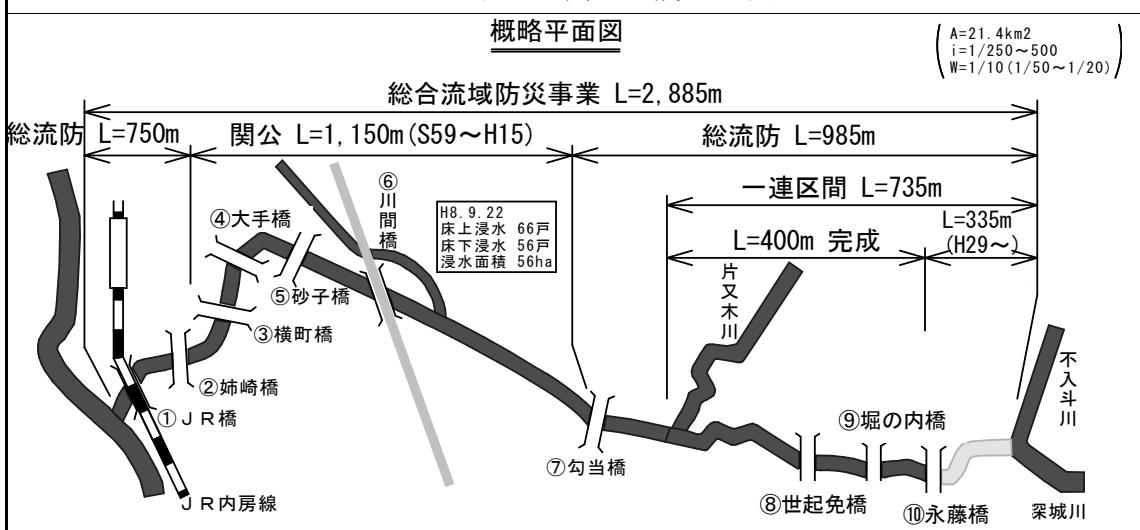
また、川間橋から片又木川合流点までの区間については、暫定改修として1/20規模の改修が概成したところである。

浸水被害状況としては、昭和57年9月10日、昭和59年8月13日、昭和61年8月2日等の洪水において多くの家屋が被害を受け、また、近年では平成8年9月22日洪水において122戸の家屋が被害を被っている。

特に片又木川合流点から不入斗川にかけての上流区間は、下流区間に比べて極端に洪流水下能力が低く、毎年のように被害を生じており、早急な整備が望まれていることから、当該区間735mにおいて平成20年度から総合流域防災事業により整備を進め、片又木川合流点から400mの河道改修が平成24年度に完成した。また永藤橋から上流の335m区間については平成29年度から事業を再開した。

全体計画	令和6年度迄実績	令和7年度計画
事業費 3,302,100千円	事業費 2,691,414千円	事業費 71,914千円
延長 2,885m	(進捗率82%)	(進捗率84%)
築堤工 735m	護岸工 2,430m	護岸工 1式
護岸工 2,885m	掘削工 1,430m	設計 1式
掘削工 1,870m	橋梁 9橋	
橋梁 10橋	用地 53,672m <sup>2</sup>	
用地 53,863m <sup>2</sup>	氾濫解析 1式	
工期 昭和45年度～		

工事箇所図



## 6. 管内道路、河川の現況

### (1) 管内道路

一般国道

(令和6年3月31日現在)

路線名	起点	終点	実延長(旧道含む)	
			県管理(m)	国土交通省管理(m)
国道16号	野田市中野台	富津市富津		14,145
国道297号	館山市北条	市原市八幡	39,593	
国道409号	木更津市長須賀	成田市並木町	10,982	
計			50,575	14,145

主要地方道・一般県道

路線番号	路線名	起点	終点	実延長(m)
主要地方道 7路線				91,798
13	市原茂原線	市原市姉崎	茂原市本町	17,736
14	千葉茂原線	千葉市中央区登戸町	茂原市高師	10,665
21	五井本納線	市原市五井	茂原市本納	18,249
24	千葉鴨川線	千葉市中央区塩田町	鴨川市横渚	17,657
32	大多喜君津線	大多喜町三又	君津市久留里市場	8,959
67	生実本納線	千葉市中央区生実	茂原市大沢	1,250
81	市原天津小湊線	市原市牛久	鴨川市天津	17,282
一般県道 24路線				96,377
126	八幡菊間線	市原市八幡	市原市菊間	2,959
128	日吉誉田停車場線	長柄町日吉	千葉市誉田停車場	6,906
130	誉田停車場潤井戸線	千葉市誉田停車場	市原市潤井戸	2,699
132	土気停車場金剛地線	千葉市土気停車場	市原市金剛地	1,133
139	茂原五井線	茂原市上茂原	市原市廿五里	4,065
140	五井山倉線	市原市村上	市原市山倉	3,463
141	五井町田線	市原市五井	市原市今富	1,663
143	南総昭和線	市原市馬立	袖ヶ浦市坂戸市場	3,477

路線番号	路 線 名	起 点	終 点	実 延 長 ( m )
144	南総姉崎線	市原市上高根	市原市不入斗	7,685
148	南総一宮線	市原市平蔵	一宮町一宮	1,239
160	加茂木更津線	市原市徳氏	木更津市新田	4,159
168	鶴舞馬来田停車場線	市原市鶴舞	木更津市馬来田停車場	7,482
169	南総馬来田線	市原市皆吉	木更津市地蔵堂	4,062
171	加茂長南線	市原市徳氏	長南町蔵持	10,918
172	大多喜里見線	大多喜町泉水	市原市月出	7,862
173	南総月出線	市原市養老	市原市月出	7,342
220	八幡宿停車場線	市原市八幡停車場	市原市八幡	115
221	五井停車場線	市原市五井停車場	市原市五井	217
223	牛久停車場線	市原市牛久停車場	市原市牛久	94
243	市原埠頭線	市原市八幡	市原市八幡	1,334
284	鶴舞牛久線	市原市鶴舞	市原市牛久	4,472
287	袖ヶ浦姉崎停車場線	袖ヶ浦市奈良輪	市原市姉崎停車場	2,438
292	犬成海士有木線	市原市犬成	市原市海士有木	8,387
300	上高根北袖線	市原市上高根	袖ヶ浦市北袖	2,206

#### 有料道路

路線番号	路 線 名	起 点	終 点	実 延 長 ( m )
468	首都圏中央連絡 自動車道	神奈川県横浜市 金沢区 (釜利谷 J C T)	千葉県木更津市 (木更津 J C T)	8,000
	東関東自動車道館山線 (東日本高速道路㈱ 市原管理事務所)	千葉市中央区浜野町	富津市竹岡	18,300

合 計	36 路 線	279,195
県管理延長	33 路 線	238,750

## (2) 管内河川

### 二級河川

水系名	河川名	指定延長(m)	流路延長(m)	流域面積(km2)	告示年月日
村田川	村田川	左・右岸 17,481	20,800	104.1	S 4. 9. 20 S43. 3. 27 S37. 6. 8
〃	神崎川	〃 3,900	12,000	(25.5)	H 6. 12. 13
〃	支川村田川	〃 8,130	8,130	(12.4)	S45. 6. 1 S49. 5. 24 S47. 4. 18
〃	瀬又川	〃 1,275	4,300	(16.1)	S63. 1. 26
〃	ミカダ川	〃 (975) 1,500	1,500	(瀬又川に含む)	S63. 1. 26
養老川	養老川	〃 73,391	75,000	242.6	T 6. 1. 9 S40. 3. 31 S 4. 9. 20
〃	内田川	〃 1,200	8,100	(15.4)	S63. 4. 1
〃	平蔵川	〃 5,327	25,000	(29.4)	S 4. 9. 20
〃	古敷谷川	〃 3,000	18,000	(16.2)	S40. 3. 31
前川	前川	〃 1,450	4,900	6.4	S35. 4. 1
椎津川	椎津川	〃 4,070	7,100	17.9	S40. 3. 31 H13 3..30
計	11河川	〃 (120, 199) 120, 724	184,830	371.0	( )内は管内延長

( )内の流域面積は水系の内数

## (3) 管内砂防指定地

水系名	渓流名	延長(m)	指定面積(ha)	告示年月日
養老川	古敷谷川	4,350	139.58	S48. 8. 13
〃	芋原川	1,950	42.45	S48. 8. 13
〃	沢川	2,110	68.16	S48. 8. 13
〃	西川	4,040	26.00	S53. 7. 17
〃	浦白川	4,370	18.14	S54. 4. 12
〃	梅ヶ瀬川	1,380	1.88	S63. 3. 18
計		18,200	296.21	

## (4) 急傾斜崩壊危険区域指定

番号	区域名	市町村大字	面積(m2)	指定年月日及び告示番号
115	辰巳台	市原市辰巳台	36,842.76	S58. 11. 29 告示第945号
263	潤井戸	〃 潤井戸	3,367.04	H 2. 8. 31 告示第712号
264	勝間の1	〃 勝間	15,815.01	H 2. 8. 31 告示第712号
265	勝間の2	〃 勝間	7,605.82	H 2. 8. 31 告示第712号
315	大厩	〃 大厩	11,091.55	H 6. 2. 18 告示第117号
372	奉免	〃 奉免	12,452.60	H10. 3. 13 告示第209号
456	奥野	〃 奥野	20,136.00	H15. 5. 9 告示第470号
515	片又木	〃 片又木	30,418.08	H23. 6. 7 告示第438号
529	吉沢	〃 吉沢	17,891.32	H26. 11. 7 告示第707号
計			155,620.18	

## (5) 国土交通省所管海岸保全区域指定

沿岸名	海岸名	地区海岸名	延長(m)
東京湾	八幡・姉崎	五井・姉崎	5,785

## 7. 道路現況調査、河川現況調査、砂防河川現況調査

### (1) 道路現況調査

(令和6年3月31日現在)

道 路 種 別	路 線 數	実 延 長		内 訳		道 路		種 類 別		延 長		要 摘
		延長(m)	改良済(m)	改 良 (%)	未 改 良 (m)	舗 裝 道 (m)	砂 利 道 (m)	橋 数 (%)	永 久 橋	隧 道	隧 道 数	
一 般 国 道	3	64,720	64,720 (100.0)	0	0	64,720 (100.0)	0	0	47	0	0	
内 訴 県 管 理 区 間	1	14,145	14,145 (100.0)	0	0	14,145 (100.0)	0	0	7	0	0	(国)16号
	2	50,575	50,575 (100.0)	0	0	50,575 (100.0)	0	0	40	0	0	(国)297号
主 要 地 方 道	7	91,798	89,937 (98.0)	1,861	91,798 (100.0)	0	0	0	53	2	0	(国)409号
一 般 県 道	24	96,377	92,077 (95.5)	4,300	91,653 (95.1)	424	37	1,713	1,005	11	11	八幡菊間線 外23 砂利道 424mは未改良4,300mに含む
自 車 道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
有 料 道	2	26,300	26,300 (100.0)	0	0	26,300 (100.0)	0	0	25	0	1,303	東関東自動車道
計	36	279,195	273,034 (97.8)	6,161	274,471 (98.3)	4,724	162	162	13	6,238	1,285	首都圏中央連絡自動車道

## (2) 河川現況調

(令和6年3月31日現在)

級 別	水 系 別	河 川 名	延 長 (m)		実 延		長		概 要
			延長(m)	改良済(m)	比率 (%)	未改良(m)			
二級河川	村 田 川	村 田 川	17,481	右岸 左岸	10,779 (62%) 10,745 (61%)	右岸 左岸	6,702 6,736	改良計画延長	10,625m
"	" 神 崎 川	神 崎 川	3,900	右岸 左岸	3,900 (100%) 3,900 (100%)	右岸 左岸	0 0	市原市施工 改良計画延長	3,900m
"	" 支 川 村 田 川	支 川 村 田 川	8,130	右岸 左岸	3,738 (46%) 3,738 (46%)	右岸 左岸	4,392 4,392	改良計画延長	4,860m
"	" 瀬 又 川	瀬 又 川	1,275	右岸 左岸	0 (0%) 0 (0%)	右岸 左岸	1,275 1,275		
"	" ミ カ ダ 川	ミ カ ダ 川	(975)	右岸 左岸	0 (0%) 0 (0%)	右岸 左岸	1,500 1,500	延長は防災調節池まで 指定延長はその上流更に525m (千葉土木事務所管理)	
"	" 養 老 川	養 老 川	73,391	右岸 左岸	15,914 (22%) 18,046 (25%)	右岸 左岸	57,477 55,345	改良計画延長	21,960m
"	" 内 田 川	内 田 川	1,200	右岸 左岸	0 (0%) 0 (0%)	右岸 左岸	1,200 1,200		
"	" 平 蔵 川	平 蔵 川	5,327	右岸 左岸	0 (0%) 0 (0%)	右岸 左岸	5,327 5,327		
"	" 古 敷 谷 川	古 敷 谷 川	3,000	右岸 左岸	0 (0%) 0 (0%)	右岸 左岸	3,000 3,000		
"	" 前 川	前 川	1,450	右岸 左岸	1,450 (100%) 1,450 (100%)	右岸 左岸	0 0	改良計画延長	1,450m
"	" 椎 津 川	椎 津 川	4,070	右岸 左岸	3,200 (79%) 3,346 (82%)	右岸 左岸	870 724	改良計画延長	3,020m
計			(120,199)	右岸 左岸	38,981 (32%) 41,225 (34%)	右岸 左岸	81,743 79,499	( )内は管内延長	

## (3) 破防河川現況調

(令和6年3月31日現在)

級 別	水 系 別	河 川 名	実 延 長			未 改 良 (m)	摘要	要
			延長(m)	改 良 済 (m)	(比 率)			
二 級 河 川	養 老 川	古 敷 谷 川	4,350	2,881	(66%)	1,469	S48.8.13 建告第1732号 ダム工5基	
〃	〃	芋 原 川	1,950	1,140	(58%)	810	S48.8.13 建告第1732号 ダム工6基	
〃	〃	沢 川	2,110	1,700	(81%)	410	S48.8.13 建告第1732号 ダム工3基	
〃	〃	西 川	4,040	3,764	(93%)	276	S53.7.17 建告第1193号 ダム工1基	
〃	〃	浦 白 川	4,370	3,606	(83%)	764	S54.4.12 建告第842号 ダム工2基	
〃	〃	梅 ケ 潬 川	1,380	171	(12%)	1,209	S63.3.18 建告第805号 ダム工1基	
計			18,200	13,262	(73%)	4,938		

## 8. 道路施設

### (1) 橋梁

(令和7年4月1日現在)

No	道路橋名	(フリガナ)	路線名	架設年次	橋長(m)	幅員(m)	緊急輸送道	備考
1	無名橋1	(ムメイキヨウ1)	国道297号	不明	2.3	17.9	一次	溝橋(フリハ゛ー卜)
2	上畠橋	(カツハ゛シ)	国道297号	1990	19.9	13.0	一次	溝橋(フリハ゛ー卜)
3	野中橋	(ノカハ゛シ)	国道297号	1951	5.9	10.3	一次	溝橋(フリハ゛ー卜)
4	平蔵橋	(ヒヤヅハ゛シ)	国道297号	2009	33.0	11.0	一次	
5	阪本橋	(サカモトハ゛シ)	国道297号	1984	15.6	10.5	一次	
6	桟道橋	(サンドウキヨウ)	国道297号	不明	105.0	3.5	一次	
7	無名橋2	(ムメイキヨウ2)	国道297号	不明	2.6	10.6	一次	
8	中橋	(カハ゛シ)	国道297号	1954	10.2	7.1	一次	
9	中橋側道橋(上り)	(カハ゛シカトウキヨウ(ホーリ))	国道297号	不明	10.0	2.5	無し	
10	中橋側道橋(下り)	(カハ゛シカトウキヨウ(クダリ))	国道297号	1977	10.5	2.0	無し	
11	新手綱橋	(シンドウナハ゛シ)	国道297号	1974	70.0	10.3	一次	
12	根本橋	(ホントハ゛シ)	国道297号	1962	9.5	8.4	一次	
13	根本橋側道橋	(ホントハ゛シカトウキヨウ)	国道297号	不明	9.5	3.8	無し	
14	水神橋	(スイジンハ゛シ)	国道297号	1979	9.0	11.5	一次	溝橋(フリハ゛ー卜)
15	上養老橋	(カミヨウロハ゛シ)	国道297号	1995	110.4	17.0	一次	
16	前川橋	(マエカリハ゛シ)	国道297号	1962	7.5	7.6	一次	
17	向川橋	(ムコウカリハ゛シ)	国道297号	1996	4.5	8.8	一次	
18	大宮橋	(オミヤハ゛シ)	国道297号	1984	18.6	12.5	一次	
19	新橋	(シンハ゛シ)	国道297号	1932	10.4	9.5	一次	
20	辰巳橋	(タツミハ゛シ)	国道297号	1964	11.4	15.0	一次	
21	市原橋	(イチハラハ゛シ)	国道297号	1986	40.5	26.6	一次	
22	浅井橋	(アシイハ゛シ)	国道297号ハイバス	1994	98.4	14.0	二次	
23	新生橋	(シンセイハ゛シ)	国道297号ハイバス	1955	2.9	14.4	二次	
24	西広橋(上り線)	(セイロハ゛シ(ホリセン))	国道297号ハイバス	1989	141.0	10.3	二次	
25	西広橋(下り線)	(セイロハ゛シ(クダリセン))	国道297号ハイバス	1999	141.0	10.3	二次	
26	養老橋	(ヨウロウハ゛シ)	国道297号ハイバス	1998	203.0	24.0	二次	
27	無名橋148	(ムメイキヨウ148)	国道297号ハイバス	1998	9.5	20.4	二次	

No	道路橋名	(フリガナ)	路線名	架設年次	橋長(m)	幅員(m)	緊急輸送道	備考
28	柏橋	(カヤハシ)	国道409号	1972	12.5	8.3	一次	
29	柏橋側道橋	(カヤハシクトウキヨウ)	国道409号	1992	12.5	2.5	無し	
30	江川橋	(エカラハシ)	国道409号	1980	36.5	10.5	一次	
31	楓橋	(カエデハシ)	国道409号	1997	74.6	14.0	一次	
32	忠志橋	(チュウシハシ)	国道409号	1968	12.6	7.5	一次	
33	忠志橋側道橋	(チュウシハシクトウキヨウ)	国道409号	1982	12.6	2.0	無し	
34	町木橋	(マチキハシ)	国道409号	1962	7.5	7.5	一次	
35	町木橋側道橋	(マチキハシクトウキヨウ)	国道409号	1983	7.5	2.0	無し	
36	桜橋	(サクラハシ)	国道409号	1990	9.3	12.5	一次	
37	堀越橋	(ホリヨシハシ)	国道409号	1964	18.0	7.5	一次	
38	堀越橋側道橋	(ホリヨシハシクトウキヨウ)	国道409号	1987	17.6	2.5	無し	
39	高橋	(タカハシ)	国道409号	1965	16.6	7.5	一次	
40	高橋側道橋	(タカハシクトウキヨウ)	国道409号	1987	16.6	2.5	無し	
41	藤根橋	(フジネハシ)	県道市原茂原線	1964	20.0	15.0	一次	
42	鎧田跨線橋	(アヅミタコセキヨウ)	県道市原茂原線	1987	120.9	7.0	一次	
43	無名橋144	(ムメイキヨウ144)	県道市原茂原線	不明	2.5	7.0	二次	溝橋(カルハート)
44	海保橋	(カイボハシ)	県道市原茂原線	1950	2.1	7.7	二次	
45	神代橋	(カシロハシ)	県道市原茂原線	1961	3.2	11.1	二次	
46	神代橋側道橋(下り線)	(ジンダヒバシクトウキヨウ(クタリセン))	県道市原茂原線	不明	3.6	1.3	無し	
47	中谷原橋	(ナガヤハラハシ)	県道市原茂原線	1957	3.4	6.5	二次	
48	中谷原橋側道橋(上り線)	(ナガヤハラハシクトウキヨウ(ホリセン))	県道市原茂原線	1971	11.8	1.1	無し	
49	五土橋	(コトハシ)	県道千葉茂原線	不明	5.0	6.3	無し	
50	五土橋側道橋(上り)	(コトハシクトウキヨウ(ホリセイ))	県道千葉茂原線	不明	5.1	1.2	無し	
51	草刈橋	(クサカリハシ)	県道千葉茂原線	1968	47.0	10.0	二次	
52	中川橋	(ナガカラハシ)	県道千葉茂原線	1966	8.4	10.1	二次	
53	中川橋側道橋(上り)	(ナガカラハシクトウキヨウ(ホリセイ))	県道千葉茂原線	不明	8.4	2.0	無し	
54	中川橋側道橋(下り)	(ナガカラハシクトウキヨウ(クタリ))	県道千葉茂原線	1983	14.5	2.0	無し	
55	大厩橋	(オオカマヤハシ)	県道千葉茂原線	1963	3.6	13.1	二次	
56	小湊跨線橋	(ヨミナトコセキヨウ)	県道五井本納線	1991	23.0	12.0	無し	

No	道路橋名	(フリガナ)	路線名	架設年次	橋長(m)	幅員(m)	緊急輸送道	備考
57	谷添橋	(ヤツエハシ)	県道五井本納線	1991	17.1	12.0	無し	
58	神崎橋	(カサキハシ)	県道五井本納線	2001	26.5	14.6	無し	
59	富士宮橋	(フジミヤハシ)	県道五井本納線	1965	10.6	6.0	無し	
60	村上橋	(ムラカミハシ)	県道五井本納線	1971	4.5	7.0	無し	
61	金森橋	(カナモリハシ)	県道五井本納線	1961	4.2	7.4	無し	
62	新本田橋	(シンムラタハシ)	県道千葉鴨川線	1984	50.4	12.0	無し	
63	池田橋	(イケダハシ)	県道千葉鴨川線	1951	7.0	8.2	無し	
64	二子橋	(ツコハシ)	県道千葉鴨川線	1934	3.0	6.0	無し	
65	八幡橋	(ヤハタハシ)	県道千葉鴨川線	1985	12.8	13.5	無し	溝橋(カルハート)
66	北川橋	(キタカワハシ)	県道千葉鴨川線	2005	6.8	5.5	無し	
67	金杉橋	(カネザシハシ)	県道千葉鴨川線	1938	6.1	6.1	無し	
68	白金橋	(シロカネハシ)	県道千葉鴨川線	1965	9.4	18.7	無し	
69	大みよ橋	(オミヨハシ)	県道千葉鴨川線	1978	22.3	18.8	無し	
70	高場第二橋	(タカハタニイハシ)	県道千葉鴨川線	不明	14.3	20.1	無し	
71	中の池橋	(ナカノイケハシ)	県道千葉鴨川線	2008	36.9	22.8	無し	
72	白塚跨線橋	(シラツカセンキョウ)	県道千葉鴨川線	1964	12.5	7.0	無し	
73	白塚則道橋	(シラツカツクドウキョウ)	県道千葉鴨川線	1996	12.5	2.5	無し	
74	新栄橋	(シンサカエハシ)	県道千葉鴨川線	1964	9.8	6.0	無し	
75	無名橋3	(ムメイキョウ3)	県道千葉鴨川線	不明	3.5	34.1	一次	
76	不田橋	(ブタハシ)	県道千葉鴨川線	1962	2.2	21.0	一次	溝橋(カルハート)
77	白谷橋(上り)	(シロヤハシ(ボリ))	県道千葉鴨川線	1984	19.0	10.0	一次	
78	白谷橋(下り)	(シロヤハシ(クタリ))	県道千葉鴨川線	1984	19.0	10.0	一次	
79	無名橋4	(ムメイキョウ4)	県道千葉鴨川線	1965	3.0	7.8	一次	
80	無名橋4側道橋	(ムメイキョウ4サイドウキョウ)	県道千葉鴨川線	不明	6.3	1.9	無し	
81	石神橋	(イシカミハシ)	県道大多喜君津線	1968	14.6	6.0	無し	
82	折津橋	(オリツハシ)	県道大多喜君津線	1981	56.5	10.0	無し	
83	大国橋	(オオカワハシ)	県道大多喜君津線	1961	58.3	6.0	無し	
84	柳川橋(新)	(ヤナカワハシ(シン))	県道大多喜君津線	1998	18.2	11.5	無し	
85	下川橋	(シモカワハシ)	県道市原天津小湊線	1963	32.0	6.5	無し	

No	道路橋名	(フリガナ)	路線名	架設年次	橋長(m)	幅員(m)	緊急輸送道	備考
86	川間橋	(カワマハシ)	県道市原天津小湊線	1956	45.0	6.0	無し	
87	新幸田橋	(シンコウダーバシ)	県道市原天津小湊線	1973	75.0	9.5	無し	
88	北崎橋	(キタザキハシ)	県道市原天津小湊線	1982	121.5	12.0	無し	
89	平野橋	(ヒラノハシ)	県道市原天津小湊線	1987	14.9	12.0	無し	
90	里見橋	(サトミハシ)	県道市原天津小湊線	1988	116.0	11.9	無し	
91	日の崎大橋	(ヒサキオハシ)	県道市原天津小湊線	1985	150.0	12.0	無し	
92	月崎橋	(ヅキザキハシ)	県道市原天津小湊線	1976	9.5	11.9	無し	溝橋(カルハバー)
93	境橋	(サカイハシ)	県道市原天津小湊線	1976	109.8	11.5	無し	
94	古町橋	(コマチハシ)	県道八幡菊間線	1993	50.9	17.0	無し	
95	新瀬又橋	(シンセマカハシ)	県道日吉誉田停車場線	1993	37.2	15.0	無し	
96	黒川橋	(クロカワハシ)	県道日吉誉田停車場線	1973	4.2	9.8	無し	
97	上前川橋	(カミマエカリハシ)	県道茂原五井線	1992	27.0	12.0	無し	
98	無名橋5	(ムメイキヨウ5)	県道茂原五井線	不明	5.0	18.5	無し	
99	廿五里橋	(ツバシハシ)	県道茂原五井線	1994	199.7	11.5	無し	
100	柳原橋	(ヤナギハラバシ)	県道五井町田線	1962	113.0	5.5	無し	
101	柳原橋則道橋	(ヤナギハラバシクドウキヨウ)	県道五井町田線	1998	122.0	2.0	無し	
102	今富橋	(イマミハシ)	県道五井町田線	1968	2.9	6.6	無し	
103	馬立橋	(ウマタケハシ)	県道南総昭和線	1964	7.5	5.5	無し	
104	上高根橋	(カミガネハシ)	県道南総昭和線	1962	4.3	7.5	無し	
105	無名橋6	(ムメイキヨウ6)	県道南総昭和線	1962	4.6	15.6	無し	
106	豊成橋	(トヨナリハシ)	県道南総姉崎線	1962	5.2	12.0	無し	
107	片又木橋	(カタマキハシ)	県道南総姉崎線	1962	4.1	10.1	無し	
108	泉橋	(イズミハシ)	県道南総姉崎線	1962	2.3	10.2	無し	
109	待場橋	(マチハシ)	県道加茂木更津線	1985	82.8	10.0	無し	
110	小竈橋	(コタハシ)	県道鶴舞馬来田停車場線	2007	36.0	5.5	無し	
111	加茂橋	(カモハシ)	県道鶴舞馬来田停車場線	1984	335.0	9.8	無し	
112	新川橋	(ニイワカハシ)	県道南総馬来田線	1961	7.7	5.6	無し	
113	無名橋7	(ムメイキヨウ7)	県道南総馬来田線	1961	2.5	15.8	無し	
114	中之橋	(ナカハシ)	県道加茂長南線	1962	25.0	6.0	無し	

No	道 路 橋 名	(フリガナ)	路 線 名	架設 年次	橋長 (m)	幅員 (m)	緊急輸送道	備 考
115	中之橋側道橋	(ナカハシサイドブリッジ)	県道加茂長南線	1999	25.7	3.0	無し	
116	新井橋	(アライハシ)	県道加茂長南線	1973	20.0	10.0	無し	
117	山小川橋	(ヤマコガワハシ)	県道加茂長南線	1982	26.0	10.9	無し	
118	水沢1号橋	(ミズザワハシヨウブリッジ)	県道加茂長南線	1993	4.7	9.0	無し	
119	水沢2号橋	(ミズザワハシニシブリッジ)	県道加茂長南線	1993	5.4	9.0	無し	
120	奥野橋	(オカノハシ)	県道加茂長南線	1993	14.0	5.8	無し	
121	奥野橋側道橋	(オカノハシサイドブリッジ)	県道加茂長南線	1931	9.4	5.8	無し	
122	月出橋	(ヅキデハシ)	県道大多喜里見線	1959	14.7	5.0	無し	
123	高東橋	(コウトウハシ)	県道南総月出線	1984	110.0	9.8	無し	
124	湯原橋	(ユハラハシ)	県道南総月出線	1981	32.1	10.3	無し	
125	市原跨道橋	(イハラコトハキヨリブリッジ)	県道市原埠頭線	1986	291.7	9.0	無し	
126	市原跨道橋取付橋	(イハラコトハキヨリツクハシブリッジ)	県道市原埠頭線	1986	4.1	9.0	無し	
127	新橋	(シンハシ)	県道鶴舞牛久線	1973	27.0	27.0	無し	
128	かさがみ橋	(カサガミハシ)	県道袖ヶ浦始崎停車場線	1935	3.0	7.2	無し	
129	姉崎橋(新)	(アサキハシシン)	県道袖ヶ浦姉崎停車場線	1988	40.5	12.0	無し	
130	滝口橋	(タキグチハシ)	県道大成海土有木線	1992	6.0	12.4	無し	

(2) トンネル

(令和7年4月1日現在)

No	トンネル名	(フリガナ)	路線名	完成年次	延長(m)	分類	トンネルの施工法・備考
1	大久保隧道	オオクボスカイトウ	3032 主要地方道大多喜君津線	1971	165.0	陸上	山岳(矢板)
2	菅野隧道	スゲノスカイトウ	3032 主要地方道大多喜君津線	1973	114.6	陸上	山岳(矢板)
3	南郷隧道	ナンゴウカスカイトウ	4148 一般県道南総一宮線	1912	55.9	陸上	山岳(矢板)
4	音信トンネル	オトスレトンネル	4168 一般県道鶴舞馬来田停車場線	1992	119.0	陸上	山岳(NATM)
5	徳氏隧道	トクワシスカイトウ	4171 一般県道加茂長南線	1899	149.6	陸上	山岳(矢板)
6	鶴舞第一隧道	クルマヤイチスカイトウ	4171 一般県道加茂長南線	1968	47.9	陸上	その他
7	鶴舞歩道トンネル	クルマイホドトンネル	4171 一般県道加茂長南線	1984	73.0	陸上	山岳(矢板)
8	奥野トンネル	オノノトンネル	4171 一般県道加茂長南線	2004	105.0	陸上	山岳(NATM)
9	月出第一隧道	ツキデタツキスカイトウ	4172 一般県道大多喜里見線	1968	78.8	陸上	山岳(矢板)
10	月出第二隧道	ツキデツカイスカイトウ	4172 一般県道大多喜里見線	1973	66.5	陸上	山岳(矢板)
11	田淵第一隧道	タブチタツカイスカイトウ	4172 一般県道大多喜里見線	1972	117.0	陸上	山岳(矢板)
12	田淵第二隧道	タブチツカイスカイトウ	4172 一般県道大多喜里見線	1971	172.3	陸上	山岳(矢板)
13	江孫隧道	エマコスカイトウ	4173 一般県道南総月出線	1921	20.4	陸上	山岳(矢板)

(3) 洞門

(令和7年4月1日現在)

No	名称	(フリガナ)	路線名	完成年次	延長(m)	形式・備考
1	折津ロックシェット	オリヅロックシェット	3032 主要地方道大多喜君津線	1977	110.0	上部:PCT桁、下部:L型RC受台

## 9. 土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づいて指定・告示された区域です。

土砂災害警戒区域は、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められた区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が図られます。

土砂災害特別警戒区域は、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危険が生ずるおそれがあると認められる区域です。

区域の詳細については千葉県ホームページ、ちば情報マップでご確認ください。

<a href="https://www.pref.chiba.lg.jp/kakan/sabou/keikai/ichihara-1.html">https://www.pref.chiba.lg.jp/kakan/sabou/keikai/ichihara-1.html</a>	(令和元年度までの指定箇所)
<a href="https://www.pref.chiba.lg.jp/kakan/sabou/keikai/ichihara-2.html">https://www.pref.chiba.lg.jp/kakan/sabou/keikai/ichihara-2.html</a>	(令和2年度からの指定箇所)
<a href="https://www.pref.chiba.lg.jp/kakan/sabou/keikai/ichihara-3.html">https://www.pref.chiba.lg.jp/kakan/sabou/keikai/ichihara-3.html</a>	(令和6年度-1からの指定箇所)
<a href="https://www.pref.chiba.lg.jp/kakan/sabou/keikai/ichihara-4.html">https://www.pref.chiba.lg.jp/kakan/sabou/keikai/ichihara-4.html</a>	(令和6年度-2からの指定箇所)
<a href="https://map.pref.chiba.lg.jp/pref-chiba/Portal">https://map.pref.chiba.lg.jp/pref-chiba/Portal</a>	(ちば情報マップURL)

令和7年4月1日現在

土砂災害の種類	箇所数	
	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域
急傾斜地の崩壊	942	916
土石流	34	24
地すべり	0	0
計	976	940

## 10. 用地等取得状况

事業別		用 地			補 償		
区分		令和6年度			令和6年度		
件数	面 積	金額	件数	金額	件数	金額	件数
件	m <sup>2</sup>	千円	件	千円	件	千円	件
県単 交通 安全 対 策	1	27.25	1,919	2	16,437		
県 单 河 川 改 良	0	0	0	0	1	2,370	
県 单 災 害 防 止	0	0	0	0	2	4,498	
県 单 道 路 改 良	0	0	0	0	3	431	
計	1	27.25	1,919	8	23,736		

## 11. 登記事務処理状況

令和6年度分

(国庫補助事業)

(令和7年3月31日現在)

(県単独事業) (令和7年3月31日現在)

(県単独事業)  
(令和7年3月31日現在)

(県単独事業) (令和7年3月31日現在)

## 12. 道路及び河川等使用許可状況

県管理の道路については、改良工事後の区域変更手続き、旧道の処分等に若干の遅延があるが、順次処理を進めている。

また、市街化の進展により内陸部では、上下水道、電気、電話線工事等による道路の掘返しが多く行われている現状にある。

### ア. 道路使用状況

(令和6年3月31日現在)

区分	令和6年度		令和5年度		増減	
	件数	占用料	件数	占用料	件数	占用料
	件	円	件	円	件	円
有料 継続	415	58,768,855	427	50,044,925	△12	8723930
更新	6	7,202	7	425,763	△1	▲ 418,561
新規	5	6,792	35	491,144	△30	△484,352
小計	426	58,782,849	469	50,961,832	△43	7821017
無料 継続	1,645		1,495		150	
更新	175		75		100	
新規	125		163		△38	
小計			1,733		212	
合計	426	58,782,849	2,202	50,961,832	169	7821017

## イ. 河川使用状況

(令和6年3月31日現在)

年度別 区分	令和6年度		令和5年度		増減	
	件数	占用料 円	件数	占用料 円	件数	占用料 円
有料 継続	237	6,686,140	235	6,689,102	2	▲ 2,962
更新	9	62,514	46	2,421,565	△37	▲ 2,359,051
新規	5	14,990	3	14,676	2	314
小計	251	6,763,644	284	9,125,343	△33	▲ 2,361,699
無料 継続	488		488		0	
更新	1		41		△40	
新規	10		7		3	
小計	499		536		△37	
合計	750	6,763,644	820	9,125,343	△70	▲ 2,361,699

## ウ. 道路法第24条工事

(令和6年3月31日現在)

年度別 区分	令和6年度		令和5年度		増減	
	件数		件数		件数	
住宅出入口	12	件	12	件	0	件
取付道路	0		0		0	
造成関係	5		1		4	
区画整理事業	1		4		△3	
その他	0		19		△19	
合計	18		36		△18	

## 工. 境界査定実施状況

(令和6年3月31日現在)

年度別 区分	令和6年度		令和5年度		増減	
	件数	延長(m)	件数	延長(m)	件数	延長(m)
県道・国道	59	1,506.5	48	1,689.5	11	△183.0
河川	8	223.2	5	185.3	3	37.9
里道・水路						
海浜地	0	0	0	0	0	0.0
ため池						
計	67	1,729.7	53	1,874.8	14	△145.1

### 13. 保有施設の状況

#### (1) 土 地

(令和7年4月1日現在)

所 在 地	用 途	面 積	備 考
市原市八幡海岸通1969-26	事務所敷地	4,058.38m <sup>2</sup>	
市原市八幡海岸通1969-50	事務所敷地	352.05m <sup>2</sup>	
市原市八幡海岸通1969-53	事務所敷地	418.37m <sup>2</sup>	
市原市鶴舞字元町2-275-1外4筆	事務所敷地	941.91m <sup>2</sup>	借地

#### (2) 建 物

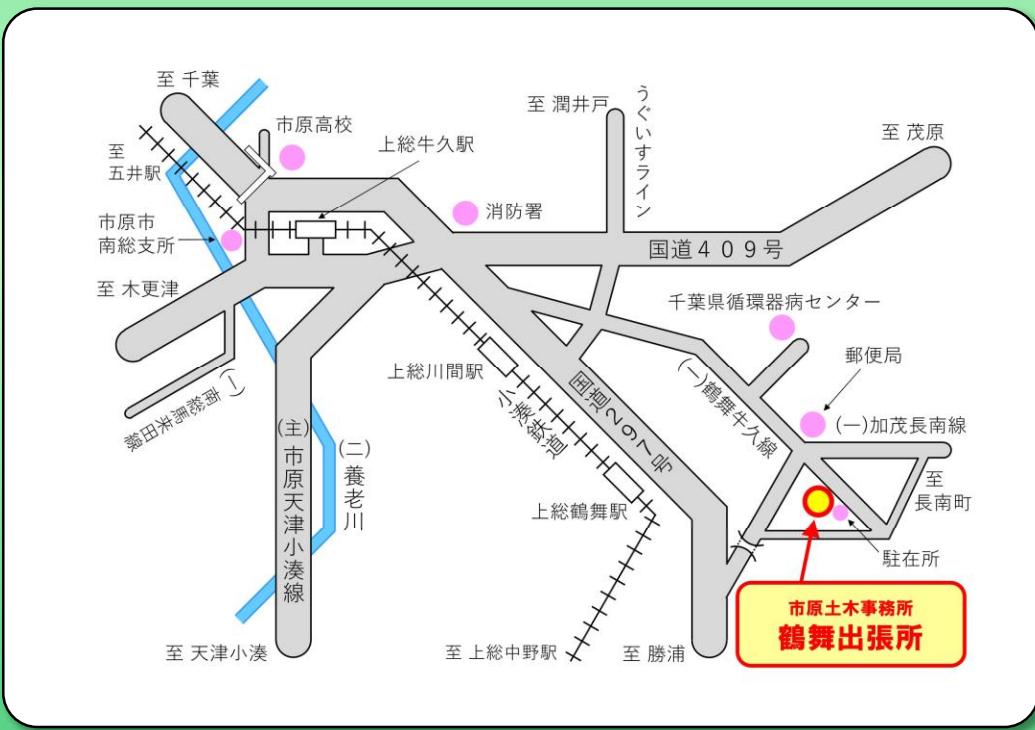
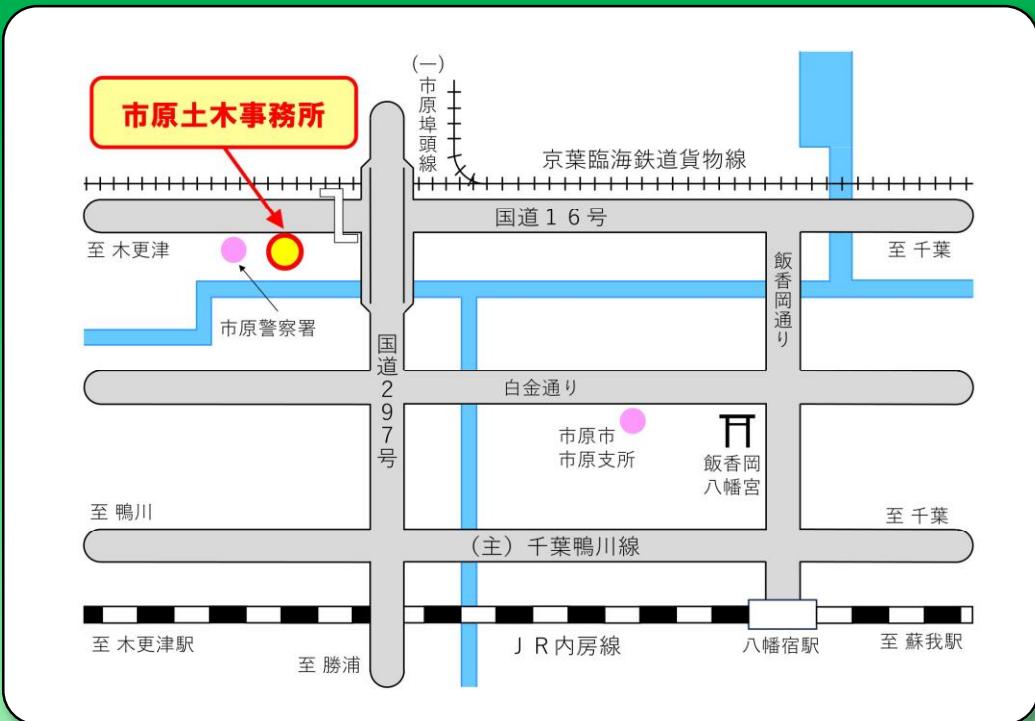
所 在 地	用 途	面 積	備 考
市原市八幡海岸通1969-26	事務所	988.81m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート造2F
市原市八幡海岸通1969-26	変電室	37.00m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート造
市原市八幡海岸通1969-26	車庫・書庫	594.30m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造2F
市原市八幡海岸通1969-26 市原市八幡海岸通1969-50	事務所倉庫	571.46m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート・軽量鉄骨造2F 旧養老川村田川改修事務所
市原市鶴舞275-1	事務所	213.56m <sup>2</sup>	鉄骨造2F
市原市鶴舞275-1	車庫	72.32m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート造

#### (3) 車両

種 別	台 数	備 考
軽 乘 用 車	1 台	
小 型 乘 用 車	1 台	
普 通 貨 物 車	2 台	道路維持作業車 2台
小 型 貨 物 車	6 台	
普 通 特 種 車	2 台	道路パトロール車 2台
小 型 特 種 車	1 台	水防車 1台
計	13 台	

## 14. 歴代所長

在 任 期 間	所 長 名	在 任 期 間	所 長 名
昭和20年4月～昭和27年3月	江 沢 準 二	平成10年4月～平成11年3月	増 谷 強 兵
昭和27年4月～昭和29年3月	河 津 要	平成11年4月～平成12年3月	寺 田 昭 良
昭和29年4月～昭和34年3月	中 村 慶 司	平成12年4月～平成13年3月	綾 木 修 二
昭和34年4月～昭和37年3月	石 川 金 司	平成13年4月～平成14年3月	和 合 征 夫
昭和37年4月～昭和39年3月	渡 辺 太 郎	平成14年4月～平成15年3月	北 村 修 一
昭和39年4月～昭和42年4月	志 村 宗 光	平成15年4月～平成16年3月	箕 輪 昇
昭和42年5月～昭和44年1月	土 屋 徳 四 郎	平成16年4月～平成17年3月	腰 越 貞 次
昭和44年1月～昭和46年3月	山 岸 後 男	平成17年4月～平成19年3月	伊 豆 倉 隆
昭和46年4月～昭和49年3月	宮 野 登	平成19年4月～平成20年3月	黒 川 博 史
昭和49年4月～昭和51年3月	野 田 親 昭	平成20年4月～平成21年3月	地 引 康 雄
昭和51年4月～昭和53年3月	遠 山 敏 夫	平成21年4月～平成22年3月	大 林 正 章
昭和53年4月～昭和56年6月	多 田 秀 夫	平成22年4月～平成23年3月	郡 猛 夫
昭和56年6月～昭和57年3月	平 野 保 一	平成23年4月～平成24年3月	鶴 山 克 己
昭和57年4月～昭和59年3月	石 崎 幸 雄	平成24年4月～平成25年3月	露 嗣 茂
昭和59年4月～昭和61年3月	外 山 明 一	平成25年4月～平成26年3月	鎌 田 哲 夫
昭和61年4月～昭和62年3月	市 川 英 生	平成26年4月～平成29年3月	増 田 光 一
昭和62年4月～平成元年3月	平 田 拓 資	平成29年4月～平成30年3月	御 園 直 樹
平成元年4月～平成2年3月	高 橋 節 男	平成30年4月～令和2年3月	秋 元 仁
平成2年4月～平成3年3月	庄 司 勉	令和2年4月～令和4年3月	堀 越 宏 喜
平成3年4月～平成4年3月	伊 藤 辰 彦	令和4年4月～令和6年3月	大 出 正 弘
平成4年4月～平成6年3月	水 野 崇	令和6年4月～令和7年3月	丸 山 正 樹
平成6年4月～平成8年3月	根 岸 輝 夫	令和7年4月～	和 田 市 雄
平成8年4月～平成9年3月	加 賀 松 次 郎		
平成9年4月～平成10年3月	田 中 茂 治		



## 千葉県市原土木事務所

〒290-0067 市原市八幡海岸通 1969

TEL 0436-41-1300 総務課

1303 管理課

1302 用地課

1301 調整課

1419 建設課

1459 維持課

FAX 0436-43-9654

## 千葉県市原土木事務所鶴舞出張所

〒290-0512 市原市鶴舞 274

TEL 0436-88-3300

FAX 0436-88-3521



市原土木事務所  
ホームページ